

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年1月14日

検討会：2024年1月10日実施

事業所名：とらいあんぐる

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に対しての基準は適正だが、広さ的には十分とは言えないので活動をグループに分けたり、分散するよう工夫している。	・はい 28 ・いいえ 0 ・どちらともいえない 2 ・わからない 0	今後も外部施設等を活用するなど工夫していきます。
	2 職員の適切な配置	支援が必要な児童には個別に対応する等、基準以上の人員を配置している。	・はい 29 ・いいえ 0 ・どちらともいえない 0 ・わからない 1	今後も適正な配置に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	築古年の賃貸物件の為、バリアフリーにはなっていない。全体・個別での視覚支援は行っている。	・はい 26 ・いいえ 0 ・どちらともいえない 2 ・わからない 2	利用児にとって活動がわかりやすいよう構造化に努めていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃・消毒の徹底を心掛けています。	・はい 30 ・いいえ 0 ・どちらともいえない 0 ・わからない 0	衛生面とともに、感染症対策にも取り組みながら安心・安全な施設づくりに励んでいきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングにおいて、職員全体で検討し、実施・振り返り評価を行っている。		毎日のミーティングの他に職員会議を行い療育の質を確保したうえで行改善に努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者に外部評価は行っていない。		今後検討していきたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンライン研修を受講したり、定期的に勉強会を行っている。		各種研修には積極的に参加を促し、職員全体のスキルアップに努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用児童ごとにスキルシートを作成し、定期的に支援会議・保護者へのモニタリングを行い、支援計画を作成している。計画に基づき、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を実施している。支援会議に基づき、具体的な支援内容を決定して記載している。	・はい 30 ・いいえ 0 ・どちらともいえない 0 ・わからない 0	半年ごとにスキルシートの内容を精査し、利用児童・保護者のニーズに沿った計画作成に取り組んでいく。よりよい支援や具体的な支援内容へと改善していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成			
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載			
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画を達成するために、来所前に各児童の支援計画、および前回までの支援記録を共有したうえで支援を行っている。	・はい 30 ・いいえ 0 ・どちらともいえない 0 ・わからない 0	今後も継続していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	常勤職員全員で毎月プログラム会議を実施し、詳細のプログラム内容については都度、ミーティングで決定している。		更なるプログラムの充実を図っていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用時間に応じて、課外活動を増やすなどプログラムを工夫している。		利用児・保護者のニーズに合わせてきめ細やかな支援が出来るよう努めていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節的な行事活動を取り入れ、週単位でプログラムを構成。年間を通しては、繰り返し経験を積める基本プログラムを実施している。	・はい 29 ・いいえ 0 ・どちらともいえない 1 ・わからない 0	利用児が楽しめるよう工夫しながら、更なるプログラムの充実を図って行きたい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日必ず、十分な時間を取って事前ミーティングを行っている。		今後も継続していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	翌朝のミーティング時に前日の状況を報告し、情報の共有に努めている。		気づいた点・気になる点の共有を図っていきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援記録ソフトを使用することで、支援経過を正確に記録保存し、その後の振り返りも行っている。		職員間で利用児の行動を共有し、次につながるよう記録を記入していく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度保護者へのモニタリング、支援会議を行い、支援計画の立案・見直しを行っている。		今後も定期的なモニタリングを行い、利用児童の成長や変化を見極めて支援計画を立てていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理責任者が担当者会議へ参加している。	会議出席後は職員間で情報の共有を図っていく。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて関係機関から情報を取得し今後の支援に生かしていきたい。	必要に応じて関係機関から情報を取得し今後の支援に生かしていきたい。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	今のところ、情報提供の依頼はないが必要な場合は行っていく。	今のところ、情報提供の依頼はないが必要な場合は行っていく。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各種研修の受講を推奨している。	必要な研修は積極的に参加し、新たな知識や情報を取り入れ支援に生かしていく。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場での放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状、障害のない子どもと活動する機会を設けていない。	・はい 8 ・どちらともいえない 6 ・いいえ 4 ・わからない 9	今後、検討していきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	ハロウインの時期には近隣の方にご協力を頂き、交流をしている。		今後も活動を広げていくよう努めます
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容については、口頭・書面・場合によってはSNSなども活用して伝えている。利用者負担についても同様に実施している。	・はい 30 ・どちらともいえない 0 ・いいえ 0 ・わからない 0	丁寧な説明を心掛け、疑問点についてはその都度説明を行います。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	更新時は必ず保護者に説明を行っている。	・はい 29 ・どちらともいえない 1 ・いいえ 0 ・わからない 0	必要に応じて、面談の場を設け説明を行います。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングなどは行っていない。	・はい 7 ・どちらともいえない 11 ・いいえ 6 ・わからない 6	今後、検討していきたい。
	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に保護者に丁寧に話すことで共通理解に努めている。	・はい 30 ・どちらともいえない 0 ・いいえ 0 ・わからない 0	今後も保護者と連携を続け、利用児の状況等の共通理解を深めていきたい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	希望者には個別面談の機会を設け、対応している。	・はい 27 ・どちらともいえない 1 ・いいえ 0 ・わからない 2	保護者の気持ちに寄り添った対応をしていけるよう努めます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会等の活動は行っていない。	・はい 2 ・どちらともいえない 11 ・いいえ 10 ・わからない 7	今後、検討していきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情連絡先を説明するとともに苦情に対しては苦情対策マニュアルに則り迅速に対応している。	・はい 24 ・どちらともいえない 0 ・いいえ 0 ・わからない 6	改善と説明を速やかに誠実に対応できるよう努めます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	カードの使用、個別スケジュールの準備、事前に予定を保護者にお知らせするなどの配慮をしている。	・はい 30 ・どちらともいえない 0 ・いいえ 0 ・わからない 0	更なる配慮に努めます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	パスワードを設定したブログにより、活動内容を保護者に公開している。行事予定はSNSを活用し告知を行っている。	・はい 29 ・どちらともいえない 0 ・いいえ 0 ・わからない 1	ホームページブログ・フェイスブック・Instagram等を活用して更なる情報発信に努めます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	事務所にて個人上に関する書類は鍵のかかるキャビネットに厳重に管理している。	・はい 29 ・どちらともいえない 0 ・いいえ 0 ・わからない 1	個人情報の取り扱いの徹底に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	現在感染症マニュアル・BCPマニュアルを作成中である。	・はい 26 ・いいえ 1 ・どちらともいえない 2 ・わからない 1	全職員が内容を把握し実行できるものになるよう検討し、作成している。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	水害・火災・地震の避難訓練を行っている。	・はい 28 ・いいえ 0 ・どちらともいえない 1 ・わからない 1	訓練を実施していることへの保護者周知を継続して行っていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルに則り、年に一度職員研修を行っている。		虐待防止マニュアルに則り、年に一度職員研修を行っている。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束が必要な児童については、会議で場面・方法・期間等を定め、保護者に同意書を取ったうえで個別支援計画に記載している。また身体拘束実施時には記録を取り職員間で振り返りを行っている。		今後も身体拘束ゼロを目指して支援方法を検討していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーのある児童の来所時はチェックリストを活用し、アレルギー物質の入ったものがないか2人以上で確認し、食べ物を提供する場所も配慮して該当物質との接触がないよう注意している。		今後も継続していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった場合には上司に報告、その後職員全員に周知し、ミーティングにて事例の振り返り、改善について話し合いを行っている。		今後も重大事故を未然に防ぐ取り組みを実施していきます。